使い方（保護者向け）

このプリントでできること

- 1枚目は、カタカナ表（50音表）です。下に、濁音（ガ）・半濁音（パ）の表もあります。書くときの手本として横に置いたり、壁に貼ったりして使えます。
- 2〜6枚目で、カタカナ46字（ア〜ン）を1字ずつ、手本を見て・なぞって・自分で書きます。7枚目は、カタカナで書くことば（外国から来たことば）を書きます。
- 手本の文字は、教科書に近い形の書体（教科書体）です。練習のシート（2〜7枚目）には、濁音・半濁音・小さい字（ャ・ッ）・のばす音（ー）は入っていません。

進め方

- 学校でカタカナを習い始めてから使ってください。1回に1枚の半分くらい、5〜10分を目安にします。
- 最初に手本を指でなぞってから、鉛筆でうすい字をなぞります。なぞるときは、はみ出しても構いません。
- 自分で書くますは、全部うめなくて大丈夫です。お菓子の箱や看板など、身の回りのカタカナを一緒に探して読むのも練習になります。

気をつけること

- シとツ、ソとン、ノとメのように、形の似た字があります。手本と並べて、点や線の向きを一緒に見てください。教科書にも、似た形の片仮名を区別して書く単元があります。
- このプリントには書き順の番号を載せていません。書き順に迷う字は、学校の教科書に合わせてください。
- 形がくずれた字があっても、その場で何度も書き直させなくて大丈夫です。手本と並べて「ここが違うね」と一緒に見る程度にします。

学校で習うこととのつながり

- 小学校の学習指導要領は、1・2年生の国語で「平仮名及び片仮名を読み，書くとともに，片仮名で書く語の種類を知り，文や文章の中で使うこと」を挙げています。解説は、片仮名で書く語として「擬声語や擬態語，外国の地名や人名，外来語など」を挙げています。
- 教科書の1年の年間指導計画では、光村図書が9月「かたかなを みつけよう」・11月「かたかなを かこう」・2月「かたかなの かたち」、教育出版が9月「かたかなの ことば」・12月「ことばの ひろば①」（かたかな）を置いています。扱う時期は学校によって異なります。

次に

- 国語で習うこと（年長〜小2）：文字と言葉の見通し
- ひらがなを書こう（年長〜小1）：あいうえお表つき
- 家庭学習の記録表：取り組んだ時間と子どもの様子を1週間記録

この教材は まなびほどき編集部が独自に作成したものです。市販教材の転載・言い換えではありません。学習効果を保証するものではなく、お子さんの能力を判定するものでもありません。